

住民アンケートづくりのポイント

1. 全住民アンケートのすすめ

＜全住民アンケート＞

- 18歳未満も含めたすべての地域住民に対し、アンケートを実施
 - 例えば1世帯に対し、家族分の個人アンケートを配布・回収
- ↓
- 性別・各年代のそれぞれの思いを把握できる

＜従来の世帯アンケート＞

- 1世帯に1つのアンケート配布
 - 回答するのは世帯を代表する世帯員(多くの場合、世帯主)
- ↓
- 世帯主の意見が「地域の声」となり、住民全員の思いを把握できない

2. アンケートづくりは皆で地域づくりを考える第1歩

◎ポイント1

「アンケートで何を質問するか」を考えることは、地域の課題をまとめる大切な作業でもあります。適宜、専門的な技術者の助言も得ながら、まず自分達で、何を把握すべきかを整理してみましょう。

◎ポイント2

全住民アンケートは、様々な理由で、日頃、思いをお伝えすることができない方々の意見をお聞きできる方法です。皆の前で意見を言うワークショップでは捉えきれない部分もお聞きできる特徴があります。

◎ポイント3

全住民アンケートが地域づくりの作業の第1歩となることも多いです。「地域づくりの取組が、このように進められていますよ」と全住民の方にお知らせすることができるように、アンケートの紙面を工夫することもとても重要です。

3. 最初の住民アンケートで聞いておきたい事項（例）

※あくまで参考例です。アンケートは各地域の状況に合わせて作成するのが基本ですので、状況に合わせて質問数、内容を設計して下さい。

<属性>

- 性別、年代、ご家族の人数等
- 職業、勤務地 ※就業していれば
- 免許所有の有無

<生活状況、地域活動への参加状況>

- 日頃の買物の仕方
- 日頃利用する医療機関
- 日頃の近所づきあいの頻度と内容
- 地域の様々な活動への参加状況
- 自治会（集落）との関わり
- 地域への様々な役についての考え

<生活課題等>

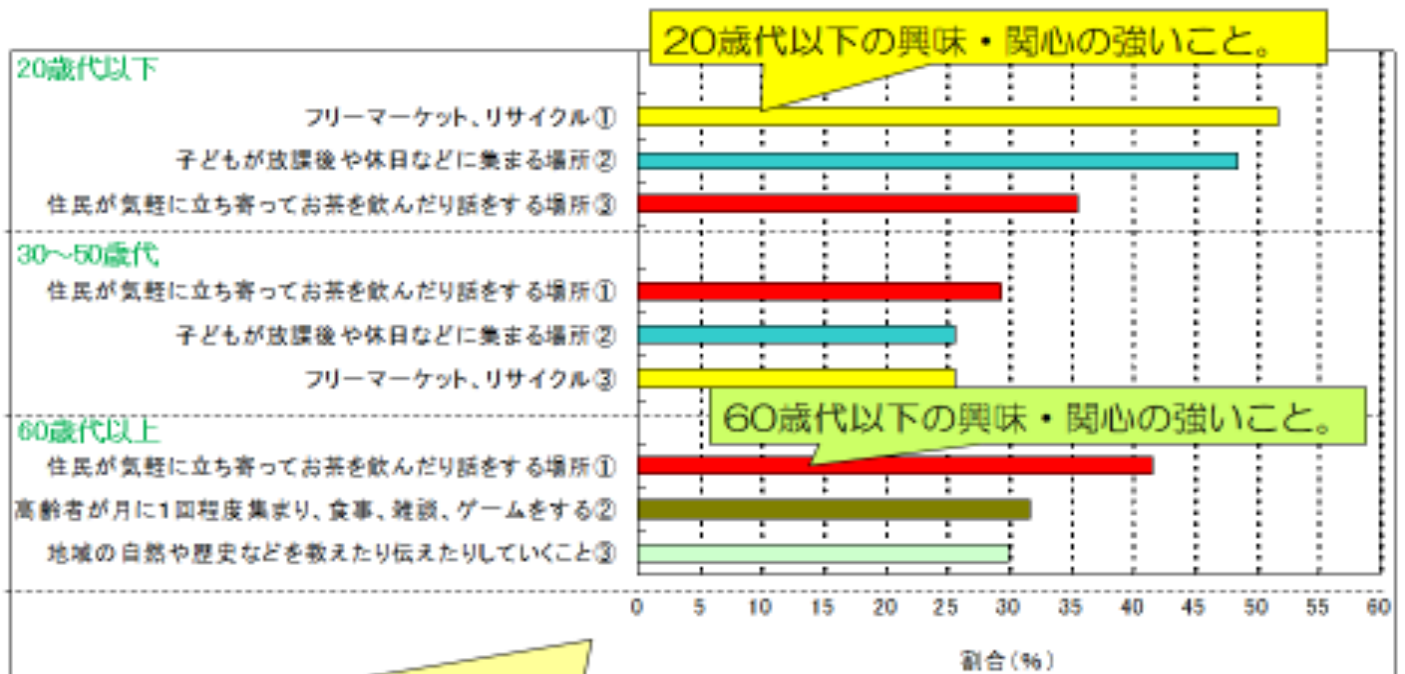
- 暮らしの中での心配ごとや悩み
- 地域で安心して子育てをするために必要なこと
- 独居または高齢者世帯の方への質問
 - ・日常の他の方との会話の頻度
 - ・安心して暮らすために必要なこと
- 災害に備えて地域で特に必要だと思うこと

<地域の産業、地域活性化について>

- 農地に関する心配ごとや悩み
- 今後の農地管理体制や地域農業のあり方
- 山林管理の現状や心配ごと
- 〇〇地域の地域づくりで取組が必要だと思うこと
- 今後の地域づくりの取組への参加意向
- 地域外からのUターン受入など定住対策への考え
- 隠れた地域の名所、名ポイント、達人の推薦
- 自由意見

4. アンケート結果の集計・分析では、各世代、性別で異なる思いを抽出し、表現するのがポイント

【回答例】日常生活の中で必要なこと・興味のあること 年齢別ベスト3



年齢層によって求めているものが異なっている。
20歳以下と30～50歳代では同じ項目が挙がっている。
60歳以上の「高齢者が集まる場所」、「地域の良さを伝えること」は、他の世代にはない。

全世代に共通して、「住民が気軽に立ち寄ってお茶を飲んだり話をする場所」が挙がっている。